

試験結果報告書

製品名：ハイモルマックス#300

試験名称：JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (GM-2)

2023年 1月 1日

株式会社レゾナック建材

品質保証グループ



1. 試験目的

ハイモルマックス#300における、「JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (CM-2)」の性能適合性の確認を行う。

2. 試験内容

「JIS A 6916:2014 建築用下地調整塗材 (CM-2)」に定められた試験方法により下記項目の試験を行った。

- ① 軟度変化試験
- ② 耐ひび割れ試験
- ③ 耐衝撃性試験
- ④ 曲げ強さ試験
- ⑤ 圧縮強さ試験
- ⑥ 付着強さ試験 (標準養生、低温養生)
- ⑦ 吸水試験
- ⑧ 透水試験
- ⑨ 長さ変化試験
- ⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験
- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験

3. 商品名・種類及び使用方法

表-1. 商品名及び調合

商品名		ハイモルマックス#300
種類		セメント系下地調整厚塗材 2 種 下地調整塗材 CM-2
正味質量	粉体	25kg/袋
使用方法	基本調合	粉体:水=25kg : 6.0kg
	標準加水量	6.0/25kg(粉体)
	標準塗面積	約 1.6m ² /袋(塗厚 10mm)
	標準塗厚	5~15mm
	可使時間	約 1 時間

4. 試験条件

① 試験室及び養生室の状態

表-2. 試験室及び養生室の状態

	温度(°C)	湿度(%)
試験室	20±5	65±20
一般養生室	20±2	65±10
湿空養生室		80以上

② 調合及び塗厚

表-3. 調合及び塗厚

調 合	粉体：水=1500g：360g
塗 厚	10mm

③ 付着強さ試験用基板の表面処理方法

プライマー(ハイモルマックスEV-300)の5倍液(プライマー：清水=1:4)を刷毛で1回(150g/m²)塗布し、皮膜が乾燥するまで静置する。

5. 試験結果

① 軟度変化試験

軟度変化試験の結果を、表-4に示す。

表-4. 軟度変化試験結果

	フロー値		軟度変化 (%)
	初期	60分静置後	
1	144	142	1.4
2	144	141	2.1
平均	—	—	1.8

② 耐ひび割れ試験

耐ひび割れ試験の結果を、表-5 に示す。

表-5. 耐ひび割れ試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれの発生は認められなかった
2	ひびわれの発生は認められなかった
3	ひびわれの発生は認められなかった

③ 耐衝撃性試験

耐衝撃性試験の結果を、表-6 に示す。

表-6. 耐衝撃性試験結果

番号	試験結果
1	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
2	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった
3	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった

④ 曲げ強さ試験

曲げ強さ試験の結果を、表-7 に示す。

表-7. 曲げ強さ試験結果

番号	曲げ強さ (N/mm ²)
1	7.0
2	6.7
3	6.6
平均	6.8

⑤ 圧縮強さ試験

圧縮強さ試験の結果を、表-8 に示す。

表-8. 圧縮強さ試験結果

番号	圧縮強さ (N/mm ²)	
1	27.8	28.0
2	28.1	28.4
3	28.3	27.2
平均	28.0	

⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）

付着強さ試験（標準養生、低温養生）の結果を、表-9 に示す。

表-9. 付着強さ試験（標準養生、低温養生）結果

番号	標準養生		低温養生	
	付着強さ (N/mm ²)	破断位置	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	2.3	基材	2.0	下地調整塗材
2	2.1	基材	2.0	下地調整塗材
3	1.8	下地調整塗材	1.9	下地調整塗材
平均	2.1		2.0	

⑦ 吸水試験

吸水試験の結果を、表-10 に示す。

表-10. 吸水試験結果

番号	吸水前の質量 (g)	吸水後の質量 (g)	吸水量 (g)
1	316.92	317.92	1.00
2	315.83	316.75	0.92
3	314.06	314.95	0.89
平均			0.9

⑧ 透水試験

透水試験の結果を、表-11 に示す。

表-11. 透水試験結果

番号	透水量 (mL/h)
1	0.00
2	0.02
3	0.02
平均	0.0

⑨ 長さ変化試験

長さ変化試験の結果を、表-12 に示す。

表-12. 長さ変化試験結果

番号	長さ変化率 (%)
1	-0.101
2	-0.085
3	-0.086
平均	-0.09

⑩ 仕上げ材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験

仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験の結果を表-13 に示す。

表-13. 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験結果

	温冷 10 サイクル後の 表面状態	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.6	仕上:8、下地:2
2	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.7	仕上:7、下地:3
3	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.5	仕上:5、下地:5
平均		1.6	

◇ 破断位置：仕上→仕上材、下地→下地調整材 を示す。

- ⑪ 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験
仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験の結果を表-14に示す。

表-14. 仕上げ材がセラミックタイルの場合の耐久性試験結果

	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	1.9	下地調整塗材
2	1.7	基材
3	2.5	張付モルタル
平均	2.0	

6. 試験結果一覧表

試験結果一覧表を表-15に示す。

表-15. 試験結果一覧表

試験項目	試験結果	品質基準 (JIS A 6916:2014) CM-2	品質基準値に 対する適・不適	
軟度変化 (%)	1.8	-20~20	適	
耐ひび割れ性	ひびわれの発生は認められなかった	ひび割れない	適	
耐衝撃性	ひびわれ及び剥がれの発生は認められなかった	ひび割れ及び剥がれない	適	
曲げ強さ (N/mm ²)	6.8	5.0 以上	適	
圧縮強さ (N/mm ²)	28.0	10.0 以上	適	
付着強さ (N/mm ²)	標準養生時	2.1	1.0 以上	適
	低温養生時	2.0	0.7 以上	適
吸水量 (g)	0.9	2.0 以下	適	
透水量 (mL/h)	0.0	0.5 以下	適	
長さ変化 (%)	-0.09	0~-0.15	適	
仕上材が 複層仕上塗材 の場合の 耐久性	表面状態	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	割れ、膨れ及び剥がれない	適
	付着強さ (N/mm ²)	1.6	1.0 以上	
	破断位置	下地調整塗材	仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.7以上	
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 (N/mm ²)	2.0	0.6 以上	適	

*本試験結果は、弊社 品質保証グループにより行った結果であり、製品の代表値ではありません。

以上